

繊維製品の高付加価値化と環境負荷低減を両立した

染色加工技術の開発

1. 事業の概要

岡山県は学生服、ジーンズ、帆布などの繊維製品が多数製造される国内有数の産地の一つとなっています。国内製造で生き残るためには、繊維製品に付加価値を与えることで市場を創造し、海外製品との差別化を図ることが求められます。一方で、繊維産業は他産業と比較して多量のエネルギーを使用し、排水処理やゴミ処理等において環境負荷が大きいことが問題となっており、その解決も同時に求められています。

このような背景の元、繊維製造工程の中で特に環境負荷が大きい染色加工工程について、当センターの保有するインジゴ染色や草木染色等の技術シーズを活用して課題解決、新技術につながる研究開発に取り組んでいます。

2. 令和4年度実績

こし餡まんじゅうを製造する岡山市の和菓子企業では、こし餡製造時に生じる小豆皮の有効活用を模索していました。児島の染色企業とともに小豆皮染色に関する研究を実施し、和菓子企業にて小豆皮染色製品を商品化しました。現在、企業ウェブサイトや和菓子企業店舗（本社及び倉敷美観地区）にて商品が購入可能となっています。



商品化したトートバッグ

担当部署

工業技術センター